

令和5年度 第1回奈良市公民館運営審議会 次第

日時：令和5年7月20日（木）10時00分から

場所：奈良市役所中央棟地下1階 B1会議室

開 会

教育長あいさつ

案 件

（1）令和4年度公民館事業実施状況及び利用状況について

（2）令和5年度公民館事業の進捗状況について

（3）今後の公民館運営について

（4）その他

第 3 7 期 奈良市公民館運営審議会委員

氏 名	所 属 ・ 役 職 等	備 考
東 拓 実	天理大学 学生（生涯教育専攻）	
虎 杖 徳 明	都南中学校区地域教育協議会 会長 明治地区自治連合会 副会長	
今 西 康 乃	NPO法人大宮地区社会福祉協議会 理事長	
奥 村 麻希子	鳥見地区社会福祉協議会 会長	
杉 山 晋 平	天理大学人間学部 准教授 人間関係学科生涯教育専攻	
橋 本 幸 子	なら子育てネットワーク 代表	
福 西 正 剛	奈良市立ならやま小中学校 校長	
伏 浦 和 美	奈良市国際女性交流協会 顧問	
森 輝 雄	奈良市運動習慣づくり推進員協議会 会長	
吉 岡 毅	奈良県青少年指導員	

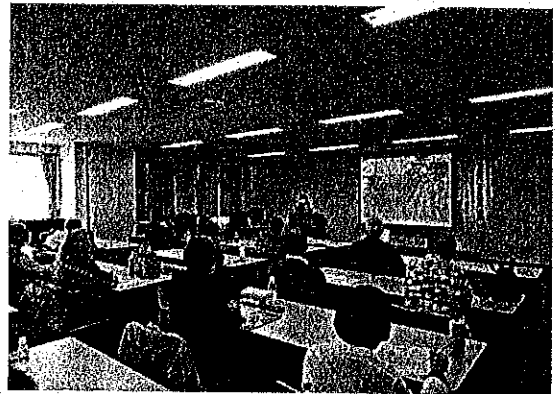
（五十音順）

※令和 4 年 5 月 1 3 日から令和 6 年 5 月 1 2 日

生涯学習センター

行った気になる世界遺産(148人)

世界遺産条約や、国内外の世界遺産の実情や課題を学び、その地を訪れたときの保護的マナーを高めることを目的に開催した。各地の世界遺産の映像を交え、研究者と旅行者の視点からの講義により受講生に世界遺産の魅力を伝えた。「行ったことのない遺産の話をたくさん聞けて楽しかった」「講師と旅行できたら楽しそう」「楽しい内容で満足だった、また開催してほしい」等、開催を希望する声が多数あった。



ミドル男子の自分磨き(41人)

余暇をもてあましがちな世代の男性に向けて、様々な体験を通して感性を磨き、経験値の向上や趣味の意義を実感してもらい、仲間づくりや自分探しのきっかけとすることを目的に開催した。陶芸、外歩き、カレー作り、ヨガ、おいしいコーヒーの入れ方について学んだ。また、公民館の活用も提案しながら、老後の生き方を考える機会とした。最終回には受講生で話し合い、自主グループとして活動を継続することになった。



中部公民館

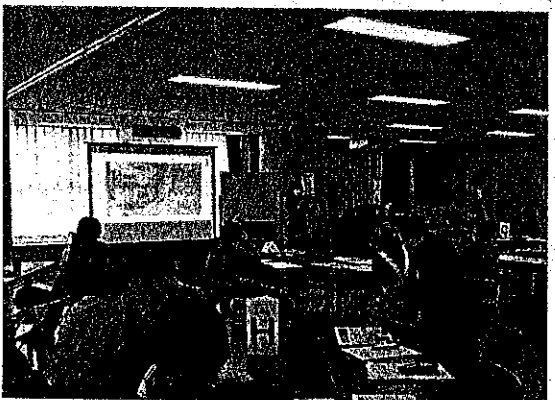
興福寺・朝日新聞社杯小学生将棋大会 (66人)

子どもたちが将棋を指す楽しみを知るとともに、集中力や思考力育成等、子どもの成長の一助となり、友達づくりの場となる事を目的に、寧楽将棋教室・興福寺・朝日新聞社と共催し、定員をこえる申込があった。アンケートからは「将棋を指す機会をいただいて、とてもうれしい」「いろんな人と将棋ができて楽しかった」などの声があり、盛況だった。日頃あまり公民館を利用しない世代にも公民館を知ってもらい機会となり、子ども同士の交流も進んだ。



こころの免疫力講座～私を元気にする方法～ (63人)

コロナ禍での行動変容による心身のストレスを抱えている人の心のケアを目的に全2回開催した。カラーやカラーワークを通して深層心理を学び、自分と向き合い自己理解を深めた。アンケートからは「時を忘れてしまう程楽しい講座で免疫力が上がった」「1人では経験ができない時間となり、色や言葉を通して新たな発見ができた」等の声があった。日頃公民館を利用しない若い世代の参加があり、受講者同士の交流が生まれ楽しい時間となった。



西部公民館

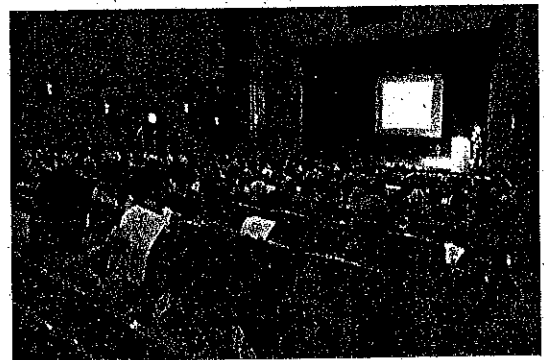
自分らしく生きる (31人)

ヤングケアラーの実情や課題を知り、地域でできることに
いて学ぶことを目的に開催。市社協や地域包括支援セン
ター・民生委員など広くに声をかけ、福祉関係者や地域住
民等、多数の参加があった。参加者からは「経験談がとて
共感を覚え、衝撃的だった」「居場所作り、仲間作りの大切
さを考えさせられた」「このような社会派の講座を毎年やっ
てほしい」などの声が聞かれた。質問では多くの手が挙げ
り、名刺交換の輪も広がるなど、関心を高めるだけでなく、
参加者同士の交流につなげることができた。



せいぶ大和学講座Ⅱ (231人)

奈良の再発見とさらなる地域理解を目的に、地元の資源を
活用し開催した。大和西大寺駅の北西にある赤田横穴墓
群を取り上げ、奈良市埋蔵文化財調査センターの所長から
最新の調査成果を聞き、横穴墓から見える歴史的背景を
想像するなど、改めて奈良の魅力を感じる機会となった。
参加者からは、「よく知る場所の話を聞けた」「住居地近くの
歴史を知れた」等の声があった。身近な場所の話題を取り
上げたため、わかりやすく、興味深く学んでもらうことがで
きた。



南部公民館

南部健康ラボ (125人)

運動不足の解消や健康的な体づくりを目指し、同じ趣味を
通して地域住民の連帯感や参加者同士の交流を深めるこ
とを目的として開催した。参加者からは「先生の説明がわか
りやすく良かった(50代)」「椅子に座って股関節の柔軟体操
やマットの上で転倒予防などのストレッチ体操が良かった
(60代)」「今回のような講座があれば参加したい(70代)」等
の声が聞かれ、講座終了後には新たな自主グループが設
立し、参加者の交流の場となっている。



読書会 IN 南部 (52人)

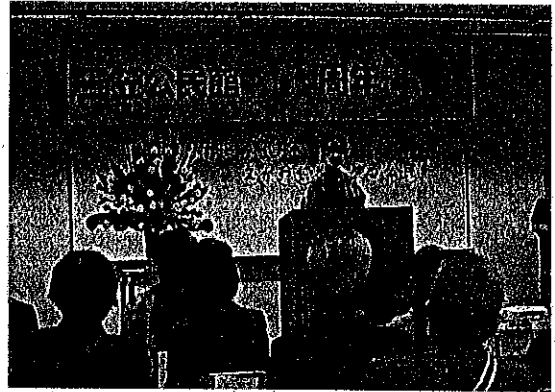
令和3年度主催「読書会IN南部」の受講者が運営メンバ
ーとなり、本を通して必要な知識や技術を提供し、参加者同
士で交流をした。「読書会の講座はあまりないので楽しみに
していた。期待以上の講座でずっと続いて欲しい。」「広く
深い読書ができるようになった。個性的な人材が集まり、い
ろんな感想や意見などが飛び交い勉強になった。」等の声
が聞かれた。地域での新たなつながりができ、自主グルー
プが誕生した。



三笠公民館

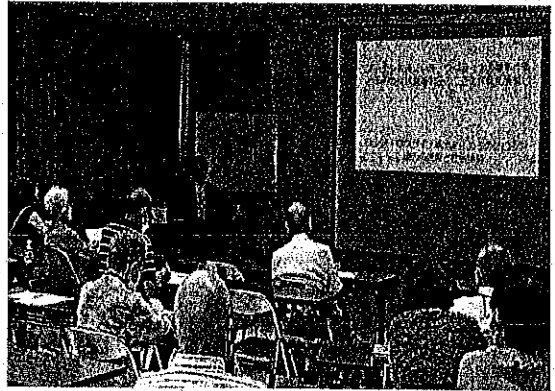
三笠公民館50周年事業 (557人)

キャッチフレーズに「ありがとう50年 えがおに出会える公民館」を掲げ、歴史を振り返り、今後の公民館について考える機会として開催。2日間で舞台発表や体験、作品展示等を実施し、参加者のアンケートからは、「長い間地域のために色々な催し等を企画して頂きありがとうございました。これからは地域の中心、いこいの場であってください。」等の声が聞かれた。実行委員会を立ち上げ、公民館と利用者・地域が一丸となり協力を重ねて作り上げることで、公民館活動の活性化につながった。



めもりある・うおー〜平和への道しるべ〜 (26人)

戦後77年の時が経ち戦争の記憶が薄れゆく中、ロシアによるウクライナ侵攻という平和を揺るがす事態が発生したことを受け、平和の尊さを再認識し、平和について考えることを目的として講演会を実施。参加者のアンケートからは、「平和とは？考えさせられた講座(70代)」「ロシア・ウクライナの状況をしっかり説明され、戦争もなかなか終わらないのが理解できた(80代)」等の声が聞かれ、今回のような平和学習を継続することの大切さが再認識された。



田原公民館

田原公民館50周年記念祭 (590人)

公民館開館50周年を記念し、多くの人が交流し、今後も田原公民館に親しんでもらうことを目的に開催した。ステージ発表や作品展示、料理販売、遊びのコーナー等を実施した。また記念コンサートや講演会も実施し、2日間で590人が参加した。参加者からは、「楽しかった」「元気がなった」「田原の歴史を知ることができた」等の声が聞かれ、自主グループ活動への励みや地域住民が交流し学ぶことの楽しさ、さらには田原地域に愛着をもつ機会となった。



プチ田舎暮らし・田原一初めての畑作リー (23人)

田舎の暮らしを知り、農作業などの体験を通じて、生きがいを感じ、参加者と地元住民と交流することを目的に開催し、夏野菜の栽培を土作りから行った。開催日以外にも、講師のご厚意で、自主的に草引きや収穫をする機会を持ったことで、本事業終了後に自主グループが結成され、引き続き田原地区で農作業を楽しむ他、公民館事業に協力するなど、積極的な活動が展開されるようになった。



富雄公民館

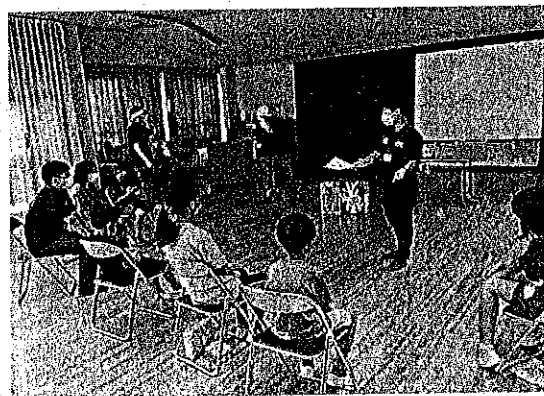
富雄公民館開館50周年記念祭 (786人)

富雄公民館開館50周年を記念して、記念式典・記念講演等のイベント、自主グループの日頃の練習成果の発表や、地域で様々な活動をしている団体の紹介等を実施した。富雄・鳥見・帝塚山・三碓の4地域の自治連合会長と公民館自主グループ連絡協議会役員で、「富雄公民館開館50周年記念祭実行委員会」を構成し、企画・運営に携わってもらった。多くの地域住民の参加と協力があり、盛況に終えることができた。



大学生とワークショップ！SDGs (8人)

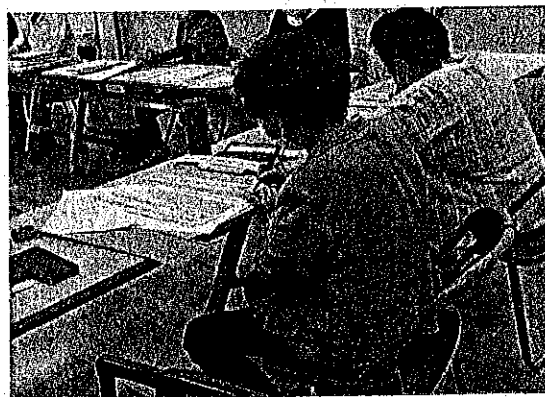
これから大人になっていく子どもたちに、SDGsの考え方、取り組みを身近に感じ、関心をもってもらうことを目的に開催した。奈良教育大学ユネスコクラブを講師に迎え、子どもたちが取り組みやすいゲームやクイズなどを通してSDGsの基礎を楽しく学ぶことができた。参加者のアンケートからは、「先生たちが色々面白いことをしてくれたのでまた来たい」「面白くて、地球によいことや、悪いことが良く分かった」との声が聞かれた。



柳生公民館

俳句で一句(50人)

俳句を通して新しい世界を体験し、俳句の楽しさを知ることが目的に全5回開催した。俳句の基礎知識等を学び、事前に示された兼題について作句した。5回目ともなると作品はかなり上達し、参加者のアンケートからは、「作句の仕方を一から教えてもらえて良かった」「観察眼が養われると思う」等の声が聞かれ、今後の生活に生きがいと潤いを持ってもらうことができた。参加者から更に学びたいとの声があり、自主グループ「柳生句会」が結成した。



親子でブルーベリー体験(16人)

農作業体験と調理実習を通して親子のコミュニケーションを図ることを目的に開催した。親子でブルーベリーを収穫後、ジャム作りを行った。参加者のアンケートで、保護者からは「親子で楽しむことができた」「収穫とジャム作りが楽しかった」、子どもたちからは「ジャム作りをまたやってみたい」「作ったジャムを食べるのが楽しみ」等の声が聞かれた。親子で一つのことに取り組むことにより絆が深まり、信頼関係が深まる楽しい時間を共有することができた。



若草公民館

文月トーク (24人)

公民館を人権教育の拠点ととらえ、人権を考えるきっかけとすることを目的に開催した。特定非営利活動法人フードバンク奈良の方を講師として招き、奈良市の現状と活動について学んだ。参加者のアンケートからは、「活動内容、事例など具体的に説明されわかりやすかった(60代)」「親の貧困、子の貧困、いろいろ考えさせられた(70代)」等の声が聞かれた。本事業後、若草公民館自主グループ連絡協議会と協力し、フードドライブを活用して食料等を集め、寄付した。



くずし字始め—古文書入門講座— (78人)

歴史や古文書に興味があり学びたいという意欲のある人が多いことから、若草中学校区内にある奈良県立大学の出前講義を活用し講座を開催した。参加者は熱心に講師の講義を聴き、くずし字の基本を学んだ。参加者のアンケートからは「教え方がユニークで大変面白かった。古文書に対してさらに興味が湧いた(60代)」「新しい発見、学びの良ききっかけとなった(70代)」等の声が聴かれた。本事業後、自主グループ化が決まった。



登美ヶ丘公民館

登美ヶ丘の地理歴史を防災につなげよう (32人)

登美ヶ丘地域の地形図から街の形状や成り立ち等を学び、自分が暮らす地域の地形を知ること、起こりうる災害に備え、防災意識を高めることを目的に開催した。国土地理院のホームページや最新の地図アプリ等、様々な機能を使って、現在と50年前の地形を見比べたり、高低差の断面図を作り上げたりしながら、リアルタイムで街の地形の変化の歴史を多角度から学んだ。登美ヶ丘地域に暮らす住民が知っておきたいことや防災の心構えについて楽しく学ぶ機会となった。



とみがおかキッズフェスタ (32人)

登美ヶ丘地域在住の小学1～4年生を対象に、友だち同士で楽しい思い出をつくり、心豊かな時間を過ごすことを目的に開催した。消しゴムはんこを使った時計とオリジナルカレンダー作りやアニメ作品の映画上映を行った。数十種類ある中から自分の好きな消しゴムはんこを自由に使って完成した作品を、友だちや保護者に嬉しそうに見せたり、大切に愛おしそうに持ち帰る姿はとても微笑ましく、作品への愛情が伝わった。ものづくりと映画を同時に楽しんだ子どもたちにとって、公民館が身近な場所となった。



興東公民館

プチ田舎暮らし・興東一エゴマの魅力再発見(47人)

地元のエゴマ農家の協力を得て、6月のエゴマの植え付けから10月のエゴマ油絞りまで全4回開催した。5ヶ月に渡る生育期間中、受講生の中には日程を調整して作業をしに来る方もいて、無事収穫できた。自然相手であることから、生育の早さや選別作業の日程調整の難しさ、一人一人の収穫量のばらつき等、農業の難しさについても体験する機会となった。お茶碗一杯ほどのエゴマから搾れる油の少なさに驚くなどその貴重さから、「感謝していただかなければ」との声があった。



チャレンジクラブ(61人)

地域の小学校の児童を対象に様々な体験や参加者同士の交流を目的として全6回開催した。年々小学校の在籍人数が減少する中ではあるが、毎回楽しみに参加していた。最終回は地域の古民家で薪を使ったかまどご飯作りに挑戦した。電気釜では味わえないおいしいご飯を堪能し、何杯もお代わりするなど、子どもたちの好奇心を刺激する内容となった。また、民家で大事に保存されているいっとう枡や火鉢であたためるアイロンのこて等も見学し、古の道具の役割を学び貴重な機会となった。



春日公民館

地域の歴史をさぐる～古代・中世の町と寺～(94人)

地域住民と元興寺文化財研究所の研究員が執筆した著書『奈良町の南玄関』が2021年7月に発刊された。そこで、地域の価値ある歴史と文化を継承し、語り継いでいくために全3回開催し、現存していない佐伯院や福寺などの最新の情報を学んだ。参加者からは、「春日公民館ならではの内容でよかった」「地域に密着した話で大変よかった」等の感想があり、シリーズ化や続編を望む声も多く寄せられた。参加者に地域の歴史に興味を持ってもらうことができた。



親子でふれあうヨガ時間(79人)

成長とともにスキンシップの機会が減少する学童期の子どもと親がヨガを通して新しいスキンシップの形を見出すことを目的に、全4回開催した。親子で互いの呼吸を感じながら腕を引っ張り合ったり深く柔軟ストレッチを行うなどし、リラックスした時間となった。参加者からは、「親子でヨガができる」と触れ合う機会が増えて良かった(40代)」「お母さんのお腹で寝るのが楽しかった(小学生)」等の声があり、大変好評だった。親子で心地よい空間を共有することができた。



二 名 公 民 館

はじめてのウクレレ(56人)

自宅でも気軽に演奏できるウクレレについて学び、仲間づくりを行った。ウクレレの各部位の名称を学ぶことから始め、コードの押さえ方や指の移動の仕方を反復練習し、1曲を弾けるようになった。最終回ではハワイの代表曲である「アロハ・オエ」を参加者で合奏した。参加者のアンケートからは、「毎回講座に来るのが楽しみだった(30代)」「15年眠っていたウクレレが目覚めました、ありがとうございます(60代)」等の声が聞かれた。講座終了後、有志による自主グループが結成された。



あそびのがっこう〜パパとアウトドア〜(20人)

コロナ禍でなかなかできなかった集団遊びを通して、親子の絆や参加者同士の交流を深めることを目的に開催した。カードに指定された動物を、ヒントを元に推理したり、チーム別でブルーシートに乗りどちらが早く脱出するか競ったり、紙飛行機を飛ばしたりした。参加者のアンケートからは、「紙飛行機がよく飛んで楽しかった(小学生)」「先生の話がわかりやすくていろいろなことができてうれしかった(小学生)」等の声が聞かれた。



京 西 公 民 館

はじめてのピラティス(26人)

体を動かすことで健康意識を高めるとともに、若い世代の女性が気軽に集える場とすることを目的として託児付き講座を開催した。地域在住の講師の指導で3回にわたり、ピラティスの基礎的な動きを取り入れた体操を行い、体をほぐしつつ体幹を鍛えることができた。参加者からは、「普段しない動きで面白かった」「とても良かった、身体を動かせるのでありがたい」との声があり、自主グループ「京西ピラティスクラブ」が発足した。



四季で見るロシアの日常風景(16人)

「ニュースからだけでなく現場の声を知りたい」との公民館利用者の意見を反映した講座として、地域在住のロシア留学経験者からロシアの文化や国民性について学び、国際理解を深めることを目的に開催した。ロシアの四季の行事や食文化等の紹介の後、主に参加者からの質問に答える形で意見交換を活発に行った。「最近のロシアを感じられて、とても参考になった」「皆で話し合えて良かった」との感想が寄せられた。



平城西公民館

秋の公民館まつり (750人)

今年度は、例年別々に開催してきた本事業と自主グループ学習発表会を統合した形で開催した。作品展示や舞台発表だけでなく、記念イベントや各種販売ブース等、多数実施することで当館を訪れたことのない多くの方に主催事業や自主グループ活動について知っていただく良い機会となった。参加者のアンケートからは、「コロナ禍をのりこえての開催、皆さんの思い、心意気に勇気をもらった(50代)」など前向きな声を多数いただいた。



地図で知る高の原 (49人)

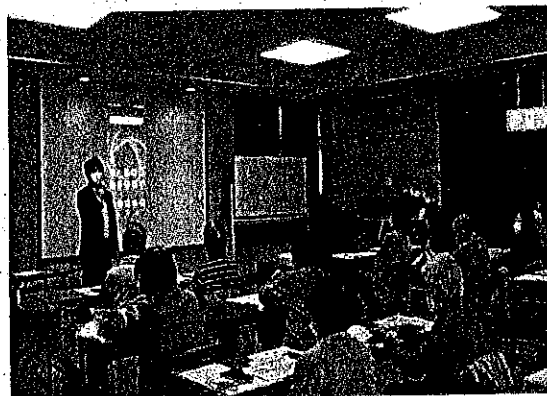
平城ニュータウンまちびらき50周年に合わせ、地域への愛着を深めることをねらいとして開催した。平城ニュータウン開発に至る経緯や周辺地域にある集落の歴史的な変遷などを絵図や文献から事前に学習し、後日地図を見ながら実際に現地を歩くことで、まちの地理的特徴や成り立ちについての理解を深めた。参加者のアンケートからは、「以前から気になっていたことが解決できた(50代)」「高の原周辺の成り立ちがわかり良かった(60代)」等の声が聞かれた。



伏見公民館

LINEについて学ぼう! (45人)

スマートフォンが普及する中、その機能を有効に活用することを目的に、地域より要望が高かったLINEについて学ぶ機会を提供した。LINEとは何か、から始まり、その活用術までを講師とたくさんのサポートスタッフにより進行していただいたことで、講座中に不明点を解決できた。すぐに使える知識や技術で、参加者が今後、不安なく活用できる内容であり、好評だった。



公民館へ行ってきました☆(14人)

子育て中の保護者のつながり作りと新しいことへの挑戦を目的に開催し、話題となったイタリアの伝統菓子「マリッツォ」を作った。お店で購入するものだと思っていた人が多数であったが、家庭でも挑戦するという声があがっていた。生地が発酵中に、参加者同士がゆったりと交流を楽しむ様子が見られた他、ストレス解消にもつながった。



富雄南公民館

スプリングコンサート&モルックで遊ぼう！(26人)

本講座は、富雄南中学校区在住の女性と公民館で地域課題等について話し合った「とみなんしゃべり場」で企画した講座である。気軽に参加しやすいコンサートと、参加者同士の交流を深めるために、軽スポーツ「モルック」を実施し、公民館を身近に感じてもらう機会となった。アンケートでは、「コンサートは選曲もよく楽しめた。モルックも楽しかった。」「全部楽しかった」等、好評だった。



介護について学ぼう！(30人)

介護保険制度・地域の高齢者の実態・認知症などについて学び、介護の基礎知識を習得することを目的に開催した。介護の技術をイメージしやすくするため、講師に実演してもらった。アンケートでは「改めて老後のことを考えなくてはと思った。とても勉強になった。」「介護が必要になった時に利用できる施設や手続きなどを知ることができて良かった。認知症の人の気持ちが少しわかったような気がする。」等、好評だった。



平城公民館

落語の見方、演り方、笑い方(68人)

日本の伝統芸能である落語をより身近に感じ、笑うことで健康維持、仲間づくりに貢献することを目的に開催した(全3回)。落語についての基礎知識の座学に加え、お囃子の鑑賞や簡単な小咄を覚えて発表するワークショップを実施した。アンケートからは「今までにない講座をしていたで良かった(70代)」「小咄発表は、初めての体験だった(60代)」「時間がかかってもよいので落語の実践をしてほしい(70代)」などの声が聞かれた。



探検！奈良の世界遺産～薬師寺編～(102人)

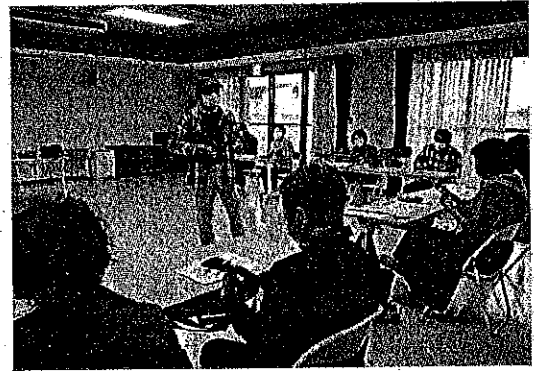
奈良の世界遺産について、専門家に学ぶ機会を提供し、奈良の文化財への理解をより深めることを目的に開催した(全3回)。薬師寺の石造文化についての講義に加え、薬師寺での現地学習を実施した。アンケートからは「座学で予習し現地で確認するのは、とても良かった(70代)」「薬師寺の新たな見方を学ぶことができた(60代)」「勉強になりました。市民として世界遺産について理解が深まり良かった(50代)」などの声が聞かれた。



飛鳥公民館

ウクレレに挑戦！ (57人)

ウクレレの基礎を学び、演奏できるようになることを目標に開催した。自前のウクレレを使って調弦や練習曲を繰り返し練習し、弾き方のコツなどを身に付けた。参加者のアンケートからは、「ウクレレが弾ける様になりとても楽しかった(70代)」「5回という短い回数の中でウクレレの始まりから教えていただけてとても良かった(50代)」等の声が聞かれ、本事業をきっかけに自主グループが新たに結成され、活動を継続することとなった。



ええ加減男飯 (12人)

料理経験の少ない男性を対象に、料理スキルの向上を目標に開催した。ハンバーグやブリの照り焼きをメインに簡単に美味しく作れ、栄養バランスのとれた料理の基礎について学習した。参加者のアンケートからは「日頃できない(しない)台所仕事の苦勞が若干でもわかったし歳に合わせた指導でよかった(70代)」「ちょっとした技術(みじん切りなど)に感心することが多く興味深く参加できた(70代)」等の声が聞かれ、料理への関心が高まった。



都跡公民館

回想法ボランティア養成講座(94人)

高齢者の認知症予防、介護予防、自立支援等に効果があると注目されている「回想法」を学び、既存の回想法ボランティアグループと共に、公民館をはじめ地域の様々な場所で回想法を実施していく人材の養成を目的に開催した。回想法を研究している大学教授、傾聴ボランティア団体の代表から講義を受け、回想法ボランティアグループによる体験を行った。講座終了後も学習を継続したいとの意向を示す受講者が多く、グループへの加入につながった。



みあときッズチャレンジ隊(111人)

子どもたちが学年を越えた異年齢集団で活動することで、豊かな心を育み、コミュニケーション力を高めることを目的に開催した。学生を中心としたボランティアスタッフ「若者隊」による内容の企画や見守りのもと、レクリエーションゲーム、工作、防災学習、昔のくらし体験、世界遺産学習等を行い、活動をポスターにして発表会をした。「いろいろなゲームができて楽しかった」「みんなと遊べてよかった」等の声があり、参加者やスタッフで交流を深めることができた。



登美ヶ丘南公民館

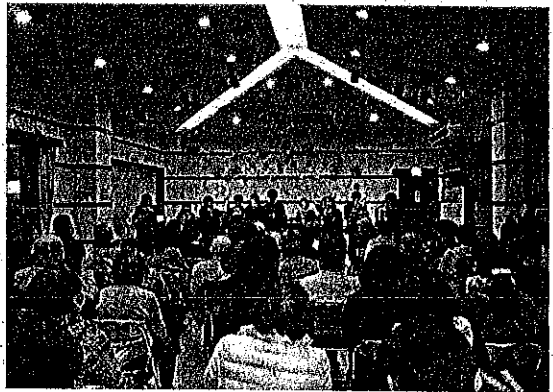
英語で国際サロン～世界をもっと身近に～(24人)

地域に住む在留外国人の手助けや孤立化を防ぐ目的で実施した。奈良県立国際高等学校の留学生・生徒・教諭を招き異文化交流を行った。講座内でのコミュニケーションツールには英語を使用した。留学生と出身地の紹介の後、日本での生活においての自国との違い、驚き、体験、困りごとなどを共有し、アドバイスなどを行い互いの文化について理解を深め、今後必要とされるサポートなどについて学んだ。参加者はもとより国際高校からも次年度以降の開催要望を受けるなど、好評であった。



登美ヶ丘南公民館まつり(622人)

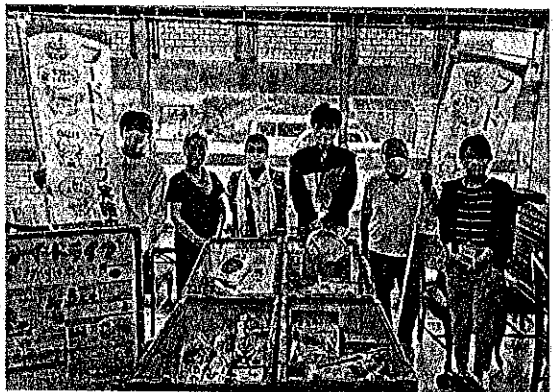
地域が活性化することを目的に発表・展示・催事等を行った。コロナ禍の影響で3年振りの開催となったが、規模を縮小することなく開催することができた。各グループの発表・展示はもとより、地域の中学生による演奏、地域団体・高校の活動紹介展示も行った。地元の講師による講演会、物品販売では近隣の店舗や自主グループによる販売を実施するなど、地域団体・住民、公民館利用者の協力を得て開催できた。多くの地域住民に来館していただき「今までのまつりで一番良かった」等の声をいただき、盛況に終えることができた。



平城東公民館

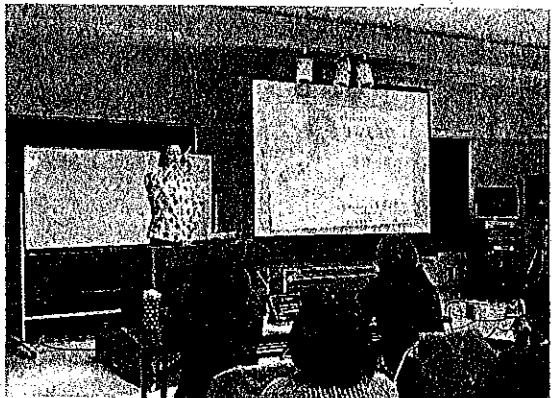
ゼロから分かるフードロス(54人)

日本ではまだ食べられるのに捨てられている食べ物が年間約600万トンもあるとのデータがある。またその約半分は各家庭から捨てられたものだという。そこで、環境とエネルギーの観点からフードロスの現状について解説し、消費者ができる、「買いすぎない・作りすぎない・訳ありでも・手前取り・保存法・丸ごと使う」の6つのことを参加者で共有した。講座修了後、実際にフードドライブを実施し、食品ロスへの意識を高めることができた。



きこえない“から”広がる可能性(34人)

他者に目を向け、尊重しあうことで誰もが住みやすい社会を作ることを目的に、聴覚障がいやその生活について理解を深める講演会を行った。障がいの原因やレベルに違いがあること、日々の生活、またデフリンピックに出場された経験、手話を通じた活動等、手話と読み取り通訳で講演を行った。「今まで関わったことがなかったので知ることができて良かった」「楽しいパフォーマンスに元気をもらった」などの声を聞くことができた。



月ヶ瀬公民館

茶芽っ子クラブ(75人)

放課後の児童の居場所づくりを目的に開催し、地域に関わる体験的な学習や、創作活動を通じて、郷土への関心を培うこと、創造力と表現力を高める学習の機会を提供した。郷土食づくりや昔遊び、月ヶ瀬の自然とのふれあいにより、異年齢同士での交流や、講師を務める地域の高齢者との学び合いを促進させることができた。初めて取り入れた「香育」では、「勉強ができるようになる香りがわかった(小4)」と家庭で語っていたことが保護者から報告され、新たな側面からの学びを提供することができた。アンケートでは、学年を問わず「楽しかった」との感想が大半を占めていた。



プチ田舎暮らし・月ヶ瀬一月ヶ瀬茶一(15人)

東部と市街地の交流のきっかけづくりを目的として、月ヶ瀬の特産品である月ヶ瀬茶を活かした講座を開催した。今回は全国手もみ茶品評会で最高位の農林水産大臣賞を受賞し、関西で初めて茶聖の称号を贈られた手もみ茶製造技術者が講師を務め、テイस्टینگ体験を行った。「どのお茶もとてもおいしかった(50代)」「普段飲めないものを飲めてうれしかった(50代)」「これまでと全く違う切り口での講座をありがとうございました(70代)」「貴重なお茶を頂けた。もう少し講座時間が長いといい(40代)」との声があった。



都祁公民館

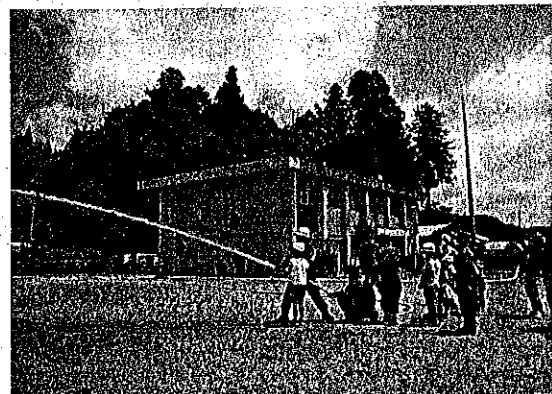
つけの索道と凍豆腐(28人)

「凍豆腐づくり」とその材料や製品などの輸送手段であった「奈良安全索道」について、「したこと・見たこと・聞いたこと」を題材に、参加者で思い出話を交換し合い、それを基に駅の平面図と、当時のタウンマップの作製を目指した。当時の索道や働く人の様子、聞こえてきた音について、思い出話を基に活発に意見交換があった。絵や図を紙に書いて持参する参加者もあった。思い出話の内容には少しズレもあったが、意見を調整しながら2つの駅の平面図と、2つの町のタウンマップが完成した。



キッズつけザー(68人)

地元の小学生を対象に開催し、おもしろ実験、消防団体験、絵工作、クリスマス会、レクリエーションを行った。消防団体験では、地元消防団の協力による放水体験や水消火器による消火訓練に加え、防災体験車や女性広報隊の皆さんにも協力いただいて、防災ダンスやスリッパ作りなど多くの体験をすることができた。子どもたちには、将来、地元消防団員として活躍する日が来ることを期待したい。



キリン・地域のちから応援事業

中部公民館

つながりサポーター養成講座(92人)

令和2・3年度に「ひきこもり」をテーマにした講座の開催を受け、公的・専門的なサポートとは違う人材や環境の必要性がわかった。そこでサポーター養成講座を開催し、若者・市民のサポーターを養成することができた。様々な立場の講師を招いて深く学ぶことができ、受講者からは「普段聞くことのできないような話を聴けて良かった(20代)」「もっと早く聞きたい内容だった(40代)」等の声があり、サポートする人材と場所の重要性について理解してもらうことができた。



子どもゆめ基金助成事業

都祁公民館

つげまるごと自然体験&発見(カヌー教室)(37人)

都祁地域で一番大きな溜池である並松池を会場に、カヌー教室を実施した。地域の水利組合や高校、池の近くにある喫茶店など、多くの団体に理解と協力を得ながら開催に至った。昨年度に引き続き参加した人は、スキルアップの指導を受けるなど、より一層カヌーを楽しんでいた。水質や景色など、都祁の環境の素晴らしさを再認識することができた。



ホーム

講座案内

施設案内

自主グループ情
報

指導者情報

現在位置 [ホーム](#)

あしあと [奈良市生涯学習財団](#) > [施設案内](#) > [興東公民館](#) > [興東公民館](#) > こんな講座ありました（竹かごを作ってみよう）

こんな講座ありました（竹かごを作ってみよう）

更新日：2023年4月20日 ID:12968

ソーシャルサイトへのリンクは別ウィンドウで開きます

[シェア](#) [ツイート](#) [LINEで送る](#)

竹かごを作ってみよう＜興東公民館：2022年7月9日（土）・7月16日（土）・7月23日（土）全3回＞

「長年放置された竹林を整備し、生活にかかせない材料であった竹から、生活に役立つ物が作れる古の知恵を実感してほしい」という思いを持つ講師と出会い、竹細工を作る講座を開催しました。

募集したところ、たくさんの方に申し込まれ、関心の高さに驚きました。

本来は竹ひご作りから学びたいところですが、今回は竹ひごを準備していただき、かご作りに挑戦です。



講座の様子



作品名「縁竹なし6つ目かご」
全3回の講座でこの作品に挑戦しました。
こんな工芸品のような作品が自分で作れるの！？
・・・と期待が高まります。



竹細工の講師、前先生です。
愛媛県で竹林の保全や世話をするボランティア活動や、竹細工の技を磨きたいと学ばれてきました。
そして竹細工の仲間から、技を伝える人が育ってくれるように強く願っておられます。
今回準備いただいた竹は真竹です。
節と節の間隔が長い方が作業がしやすいそうです。

美しく削り整えられた竹ひご21本を使って編んでいきます。

お問合せ

興東公民館

住所：〒630-1242 奈良市大柳生町3633番地

電話：0742-93-0400

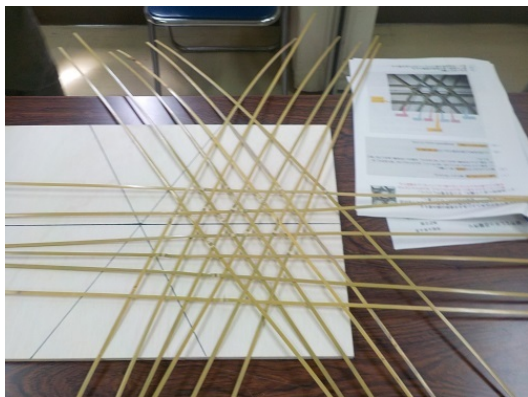
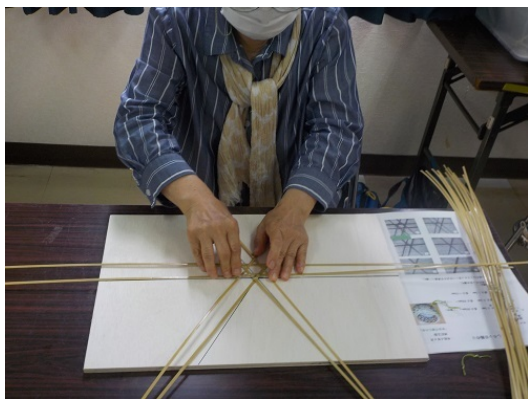
ファックス：0742-93-0400

電話番号のかけ間違いにご注意ください！

お問合せフォーム

興東公民館

- ▶ [施設情報](#)
- ▶ [講座情報](#)
- ▶ [自主グループ情報](#)
- ▶ [こんな講座ありました](#)
 - ▶ [平成17年度](#)
 - ▶ [平成18年度](#)
 - ▶ [平成19年度](#)
 - ▶ [平成20年度](#)
 - ▶ [平成21年度](#)
 - ▶ [平成22年度](#)
 - ▶ [平成23年度](#)
 - ▶ [平成24年度](#)
 - ▶ [平成25年度](#)
 - ▶ [平成26年度](#)



底の部分の完成です。
 ここから立ち上げて胴を編んでいきます。
 このように編むまで簡単なようでいろいろな決まり
 ごともあり、苦戦しながら1日目を終えました。
 「もう無理～！」との声があちこちから聞こえ、こ
 の先どうなるか不安でしたが、竹の魅力にふれた
 皆さんの「挑戦するぞ！」「がんばるぞ！」の意
 気込みが伝わってきました。



先生の鮮やかな手つきに皆さんくぎ付けで、少し
 でも覚えようと全集中で見つめます。
 見ているときは、「フンフンなるほど」と思えるので
 すが、席に戻り自分の竹ひごを前にすると、「あ
 れ？」「これは？」とお隣に聞いたり、やはりため
 息が多く聞かれ、完成するのかな・・・とまたまた
 不安を覚えながら作業を進めました。



先生はいとも簡単に編み進められます。
 立ち上げ1段目の角はコツがいます。
 1段目は五角形になるそうです。
 初心者は、そこでつまづいてしまうそうですよ。

形が見えてきて、うれしいですが、縁あみの難関が待ち構えています。
 右隣の左ひごをおさえながら次のひごを2本すくい・・・。
 まるで呪文のような言葉が続き本当に難しかったです。

- ▶ [平成27年度](#)
- ▶ [平成28年度](#)
- ▶ [平成29年度](#)
- ▶ [平成30年度](#)
- ▶ [令和元（平成31）年度](#)
- ▶ [令和2年度](#)
- ▶ [令和3年度](#)
- ▶ [令和4年度](#)
- ▶ [館長が語る](#)
- ▶ [公民館だより](#)
- ▶ [その他](#)



何とか完成しました！
見本の完成品と少し？形が違いますが、自分でここまで編むことができ感無量です。

受講生の声

- 難しかったですが、とても楽しかったです。
- 予習復習をせずついていけず反省しています。でも頑張って技を自分のものにしたいです。
- 講師の先生が材料や道具を全てご用意くださり、感謝です。
- 以前から竹細工はやってみたかったのととてもうれしいです。
- 竹かご作りをもっとやりたいと思っています。

講座を終えて

講座で竹細工を教えてくださいと探していたところ、竹のスペシャリストの前先生と出会い、先生も「ぜひ教えたい」とのことで講座を開催することができました。

難しい作品からのスタートとなりましたが、講座が終了するころには、もっと教えてほしいとの声があり、自主グループ「奈良竹細工の会」として8月からスタートし、さまざまな作品に、ひご作りから取り組んでおられます。

今回の講座では竹細工に興味を持たれている方がたくさんおられ、難しさの中にも、いにしえから脈々と伝わってきた伝統の技のすばらしさを体験することができました。

また竹の不思議な力に引き寄せられた感じがします。

これからもたくさんの人に竹の魅力が伝わることを願います。

こんな講座ありました（竹かごを作ってみよう）への別ルート

[ホーム](#) ▶ [トピックス](#)

[ページの先頭へ戻る](#)

公益財団法人 奈良市生涯学習財団 事務局

〒630-8357 奈良市杉ヶ町23番地 奈良市生涯学習センター内

電話：0742-26-5600 ファックス:0742-26-5602

Copyright © 公益財団法人 奈良市生涯学習財団 All Rights Reserved.

[ホーム](#)

[講座案内](#)

[施設案内](#)

[自主グループ情報](#)

[指導者情報](#)

現在位置 [ホーム](#) > [こんな講座ありました](#) > [令和4年度](#)

あしあと [奈良市生涯学習財団](#) > [施設案内](#) > [京西公民館](#) > [京西公民館](#) > [こんな講座ありました（親子で夢中になれるゲーム習字）](#)

こんな講座ありました（親子で夢中になれるゲーム習字）

更新日：2023年6月20日 ID:13045

ソーシャルサイトへのリンクは別ウィンドウで開きます

[シェア](#) [ツイート](#) [LINEで送る](#)

親子で夢中になれるゲーム習字 ＜京西公民館：2022年12月11日、2023年1月22日、2月12日（日）全3回＞

この講座は、親子でともに習字を楽しく体験することで、お子さんの勉強への意欲を高め、保護者の方は美しい文字の書き方を学び、自身の教養、財産とすることを目的として開催しました。

講師は、奈良悠久の郷・奈良習字てらこ屋の上田晃子さんです。

第1回：12月11日（日）来年のカレンダーを筆で書こう！（毛筆のお稽古）



講師が教えている地域の習字教室のお友達の作品を会場に飾りました。皆さん絵も字もとても上手です。最終回ではこんな作品を皆で作りますよ。



はじめに、習字の道具をさわるだけで当てるゲームです。
何が入っているかわかるかな？

次に、筆で順番に文字を書いていきます。
一筆ずつ、書き順どおりに書けるかドキドキしますね。



お問合せ

京西公民館

住所：〒630-8044 奈良市六条西一丁目3番43-2号

電話：0742-44-2669

ファックス：0742-44-2669

電話番号のかけ間違いにご注意ください！

お問合せフォーム

この記事と同じ分類の記事

- ▶ [こんな講座ありました（親子で夢中になれるゲーム習字）](#)
- ▶ [こんな講座ありました（第23回ふれあい作品展～体験もどうぞ♪～）](#)

京西公民館

- ▶ [施設情報](#)
- ▶ [講座情報](#)
- ▶ [自主グループ情報](#)
- ▶ [こんな講座ありました](#)
 - ▶ [平成17年度](#)
 - ▶ [平成18年度](#)
 - ▶ [平成19年度](#)



ゲームの後、正しい筆の持ち方と姿勢について学びました。



いよいよ、文字を書きます！
まずは水筆で練習してから、次に墨で書きます。



お題は来年の干支である「うさぎ」。
学年に応じて、「う」のみを書いたり、高学年のお友達は行書にチャレンジして、オリジナルのカレンダーができました。

第2回：1月22日（日）今年の目標カードを作ろう！（硬筆のお稽古）

今回は、文字の積み積みのゲームからスタート。

- ▶ [平成20年度](#)
- ▶ [平成21年度](#)
- ▶ [平成22年度](#)
- ▶ [平成23年度](#)
- ▶ [平成24年度](#)
- ▶ [平成25年度](#)
- ▶ [平成26年度](#)
- ▶ [平成27年度](#)
- ▶ [平成28年度](#)
- ▶ [平成29年度](#)
- ▶ [平成30年度](#)
- ▶ [令和元（平成31）年度](#)
- ▶ [令和2年度](#)
- ▶ [令和3年度](#)
- ▶ [令和4年度](#)
- ▶ [館長が語る](#)
- ▶ [公民館だより](#)
- ▶ [その他](#)



次は、間違い探しです。
全部見つけれられるかな？



えんぴつの持ち方を確認してから、自分の名前
をじっくり書いていきます。
保護者の方は、挨拶文などを練習しました。



練習した後、名刺に名前を書いて名刺交換タ
イム。
はじめは恥ずかしがりながらも、しっかりと渡す
ことができました。

第3回：2月12日（日）でっかい和紙に「習字アート作品」を仕上げよう！（作品作り）

今回は、「たのしいひなまつり」の歌詞をみんなで書いて作品を作りますよ。



まずは、「たのしいひなまつり」の歌を皆で歌いました。



担当を決めた後、歌詞を1行ずつ書いていきます。
やり直しができない墨での文字に、緊張しながらも楽しく挑戦できました。



折り紙で作った、おひなさまで飾りつけて完成！
作品は公民館の館内で掲示しました。

講座アンケートより

お子さん

- たのしかったです。いろいろかんがえてくださりありがとうございました。
- たのしかったです。またやってみたいです。
- はじめてしゅうじをやったのしかったです。
- とってもたのしかった。

- 細かく、さまざまなことが学べた。ここに来てよかったと思った。

保護者

- 丁寧に教えて頂き、とても良かったです。
- 楽しく講座に参加することができました。
- 参加型のイベント盛りだくさんで、とても楽しかったです。
- 楽しく受講できました。これから役に立てそうです。
- 子どもと一緒に作品が作れて良かったです。

講座を終えて

勉強だからやるのではなく、楽しいからやる！という気持ちになれる内容で、見ている側も楽しい気持ちになりました。

講座終了後、講師の開催している地域の習字教室にも通いたいと話していた受講者の声を伺い、今後公民館にも気軽にお越しいただくきっかけになればと感じました。

地域の皆さんに、楽しく学べる場だと感じてもらえる講座を今後も開催していきます。



作品の前で皆さんで記念撮影☆

こんな講座ありました（親子で夢中になれるゲーム習字）への別ルート

[ホーム](#) ▶ [トピックス](#)

[ページの先頭へ戻る](#)

[プライバシーポリシーについて](#) [セキュリティポリシーについて](#)

公益財団法人 奈良市生涯学習財団 事務局

〒630-8357 奈良市杉ヶ町23番地 奈良市生涯学習センター内

電話：0742-26-5600 ファックス:0742-26-5602

Copyright © 公益財団法人 奈良市生涯学習財団 All Rights Reserved.

令和4年度 特色ある事業について

(1) 開館50周年記念事業

資料	施設名	分類	重点分野	講座名	開催 期間 (月)	開催 回数	対象	定員	申込者 数(人)	受講決 定者数 (人)	延べ受 講者数 (人)	講座概要
	西部 公民館	05	その他	創立50周年記念文化祭	10	11	一般	自由 入場	自由入場	自由入場	2685	自主グループ連絡会と共催し、日頃の学習成果を披露することを目的に開催。50周年記念式典、展示や舞台発表、自主グループ体験を通して公民館活動を広く発信し、また自主グループ間の交流の機会となった。
1-1	三笠 公民館	05	その他	三笠公民館50周年事業	11	2	一般	自由 入場	自由入場	自由入場	557	キャッチフレーズに「ありがとう50年 えがおに出会える公民館」を掲げ、舞台発表や体験、作品展示等を実施した。実行委員会を立ち上げ、公民館と利用者・地域が一丸となり、公民館活動の活性化につながった。
1-1	田原 公民館	05	その他	田原公民館50周年記念祭	11	2	一般	自由 入場	自由入場	自由入場	590	50周年を祝い多くの人が交流し今後も田原公民館に親しんでもらうことを目的に、自主グループのステージ発表や作品展示、料理販売、遊びのコーナー、記念コンサート、講演会を実施。地元住民が多く参加した。
1-1	富雄 公民館	03	その他	富雄公民館開館50周年記念祭	10	2	一般	自由 入場	自由入場	自由入場	786	開館50周年を記念して、記念式典や記念講演、自主グループの日頃の練習成果の発表等を行った。また、地域で様々な活動をしている団体の紹介をするなど、公民館での地域住民の交流の機会となった。

(2) さまざまな視点から防災について考える

	三笠 公民館	06	男女	女性にフォーカス！防災講座	9	1	市内在住・在勤・在学 の16歳以上	30	15	15	14	非常時に備え、発展途上である女性視点での防災・災害時の防犯対策等について学んだ。非常用グッズのそろえ方の注意点や避難所開設時の注意事項についても学び、市民の意識向上につなげることができた。
1-1	登美ヶ丘 公民館	06	現代的課題	登美ヶ丘の地理歴史を防災につなげよう	2	1	登美ヶ丘地域在住 の中学生以上	40	39	39	32	安心・安全なまちづくりの実現のために、住民の防災意識を高め、自身が暮らす街の防災について考えることを目的に開催。登美ヶ丘の地形図をもとに、土地の形状や街の成り立ちなどから防災の心構えを学んだ。
	二名 公民館	06	現代的課題	さわやかフェス2022	12	1	二名中学校区在住 の小学3～6年生	24	17	17	17	二名中学校区地域教育協議会と共催事業。公民館では防災学習の一環として暗闇体験を行った。また二名中学校の家庭科部と美術部が展示をし、地域に住む大人と子どもの交流の機会となった。

(3) 体験を通して親子で学ぶ

1-1	春日 公民館	07	家庭教育	親子でふれあうヨガ時間	9～10	4	市内在住の小学生 と保護者	23	23	23	79	子どもの成長とともに親子のスキンシップの機会が減少する学童期の子どもと親がヨガを通して新しいスキンシップの形を見い出すことを目的として開催。ヨガで心と身体の両方を整え、リラックスした時間を過ごした。
1-2	京西 公民館	03	家庭教育	親子で夢中になれるゲーム習字	12～2	3	市内在住の5歳児 ～小学生と保護者	36	24	21	55	楽しく習字を学ぶことで、子どもの学習意欲の向上と、保護者の生涯学習の機会とすることを目的として開催。毛筆と硬筆の稽古と、参加者全員で大型作品作りを行い、習字に親しむ機会とすることができた。

(4) 地域に息づくものづくりを体験する

1-2	興東 公民館	05	その他	竹かごを作ってみよう	7～8	4	市内在住・在勤・在学 の成人	12	34	12	36	昔ながらの竹の活用について考える機会として、竹ひごを使って竹かごを編んだ。編み進めるのが難しい場面もあったが、作品として完成することができた。活動が続けたいという声が多く、自主グループとして継続することとなった。
	都祁 公民館	04	男女	女性セミナー（紅花染め）	12	1	市内在住・在勤・在学 の成人女性	18	19	18	18	女性が自分自身を見つめなおし自分らしく生きること、女性の仲間づくりにより地域活性化を図ることを目的として開催。月ヶ瀬の烏梅を媒染料に使用し、紅花の染色体験を行った。グループで協力し、たくさんの工程を経て、さまざまなピンク色のスカーフを完成させた。

(5) キリン・地域のちから応援事業「つながりサポーター養成講座」

1-1	中部 公民館	02	現代的課題	キリン・地域のちから応援事業「つながりサポーター養成講座」	11～12	3	市内在住・在勤・在学 の成人	50	55	50	92	不登校や社会に不安を抱えている若者とその家族とつながり、サポートできる人材を育成するため「ひきこもり」の現状や対応方法、実践報告を学んだ。専門的な知識を習得し、多くの市民や若者のサポーターを養成することができた。
-----	-----------	----	-------	-------------------------------	-------	---	-------------------	----	----	----	----	--

令和5年度 特色ある事業

(1) 重点分野別

重点分野	公民館名	講座名	概要
高齢者	南部公民館	いざ！男のスポーツ吹き矢	定年前後の男性を対象に、仕事中心の生活から気軽にできる吹き矢を通して生きがいや仲間作りの場を提供することを目的に開催する。
	春日公民館	公民館デビュー ～これが私の生きる道～	これまで職場と家の往復で、地域と関わる機会の少なかったシニア世代の男性に、これからの人生の楽しみの場として公民館を知ってもらおう機会とする。
男女	中部公民館	家族が元気になる「パパ株 UP」のコツ	男女の役割意識にとらわれずに自分たちにあった関係を築くため、子どもとのかかわり方を学ぶとともに、他の夫婦との交流を通して自分たち夫婦の関係性を見直すきっかけとする。
	三笠公民館	その子「らしさ」の育ちを支える	LGBTQやSOGIといった言葉が多く聞かれるようになり、子どもたちの成長の中で、どのように支援することで「自分らしさ」を育んでいけるのか学ぶ機会を提供する。
青少年	登美ヶ丘公民館	スイーツで学ぶ化学の世界	身近な材料を使った「お菓子」作りを通して、実験などを体感し、化学の世界に親しむ機会とする。また夏休み中の子どもの自由研究の一助とする。
	京西公民館	ソフトテニスに挑戦！	公民館のテニスコートを活用し、青少年のテニス体験会を実施する。友達同士でスポーツを行うことの楽しさを感じ、交流を深める場とする。
家庭教育	二名公民館	親子でパステルアート	パステルアートに親しむ事で、子どもの感性を育み、想像力を養う。また親子の絆が深まり、他家族との交流を促進する。
	平城公民館	へいじょう青空絵本のひろば	自由に絵本に触れ合える場を提供し、子育て世代の交流と仲間づくりを目的に開催する。地域の読み聞かせグループに協力してもらうことで地域人材の活躍する機会を提供する。
現代的課題	富雄公民館	学校に行きたくないに、どう寄り添う？	長年中学校で教諭をされ、退職後不登校支援のフリースクールを立ち上げた講師より、保護者が家庭でどのような見守りや声掛けを行うことが良いのかを学ぶ。
	富雄南公民館	とみなん防災講座	防災に関する催しを通して、地域住民・公民館利用者の防災意識を高めるとともに、公民館も災害時の避難場所であることを知ってもらう。

(2) 地域の自然・文化・歴史を体感する

田原公民館「太安万侶没後 1300 年」

1979 年茶畑から太安万侶の墓誌等が発掘されたことで、田原地区は一躍脚光を浴びた。太安万侶没後 1300 年を偲び、彼の功績や歴史を学ぶことにより郷土愛を深めることを目的として開催する。

柳生公民館「柳生・里山の植物探索」

柳生の里山をガイドと一緒に散策しながら自然に咲く植物を観察することで、新たな柳生の魅力を発見することを目的として開催する。

平城西公民館「高の原タウンウォーク」

地域の散歩コースを歩きながら、その中にある史跡や自然について知ること、地域に愛着を深めてもらうことを目的として開催する。また、そのことを外に出るきっかけとし、健康増進を促す。

都祁公民館「都祁散策（ナイトハイカー田の虫送りー）」

都祁地域内の名勝や歴史に触れる機会を設ける。地域内を散策することによって、地域の良さを知るきっかけとする。毎年 6 月 16 日に開催する虫送りのいわれを学び、松明を作って実際に行事に参加する。

(3) 自主事業

平城東公民館 キリン・地域のちから応援事業「地域愛、再発見！ゲームでまちのお宝さがし」

地域に根づく小さな福祉活動を支援する「キリン・地域のちから応援事業」として取り組む。「まちの身近な課題を地域の一員として自分ならどうするか」を考える機会をカードゲーム形式で提供し、より多くの方に、まちの魅力、ひとの魅力、これからの社会を共に創造することを目的に開催する。カードゲーム作成及び体験を通して、地域住民が地域社会への当事者意識を高め、協働や対話を通じて、まちや社会に対する視点・関心を育てることを目指す。

都祁公民館 子どもゆめ基金助成活動「つげ まるごと自然体験&発見」

都祁地区には素晴らしい自然環境が今も多く残っており、山や川・溜池には様々な動植物が生息するなど、昔ながらの自然の様子が多く見られる。そこで、その自然の楽しさや素晴らしさを実感できる機会を作る。五感を通して楽しみ、当たり前のようにある都祁の自然環境の素晴らしさを再発見し、その環境の維持や浄化に向けた意識の醸成や行動へとつなげる。

奈良市家庭教育サポートネットワーク支援事業

子どもや家庭を取り巻く諸問題の解決を目指すため、地域の子育ての現状を把握し、家庭教育支援に取り組むために何をすべきか等の勉強会を行う。また、勉強会を踏まえて課題解決につながるイベントや講演会を実施し、家庭と地域のつながりをつくる取り組みの推進を図る。

主催事業における5つの重点分野について

公民館での事業の年間計画を立てる際、5重点分野の**全ての分野で1つ以上**の事業を計画します。

地域・施設の特徴を活かしながら、市民・地域・利用者のニーズ等を考慮した事業を立案しています。

<重点分野>

重点分野	内 容 例 / 事 業 例
高齢者	高齢者・団塊の世代を対象とした学習促進、社会参加、仲間づくりなど 例) 高齢者学級、セカンドライフ講座、高齢者サロン、シニア対象スマートフォン講座、高齢者向け脳トレ体操、回想法講座 他
男 女	男女共同参画社会の推進に関するもの 例) 女性学級、男性料理教室、パパとクッキング、女性のキャリアアップ講座、多様な性（LGBTQ）、ワーク・ライフ・バランス、男性・女性の役割分担にまつわる文化・歴史等の固定観念を考える 他 <参考> ■奈良市男女共同参画計画（第3次）（令和4年度～8年度） 主要課題7 17 男性の家庭や子育てへの参画推進 生涯学習の充実 固定的性別役割分担意識を解消し、あらゆる分野における男女共同参画を推進する公民館事業を展開し、男女が多様な生き方の選択ができるよう広く意識の浸透を図ります。 家庭教育の充実 男女平等観に立った家庭生活や子どもの養育が行われるよう、家庭教育の充実を図ります。また、女性の学習活動の進展と機会の充実に働き、女性を取り巻く諸問題を考えます。
青少年	青少年を対象としたもの（青少年の健やかな育ちなど） 例) 自然体験活動、子ども映画まつり、中高生対象講座、夏休み子ども工作教室 他
家庭教育	親子（乳幼児～児童）、子育て中の保護者を対象としたもの 子育て環境の向上を目的としたもの（家庭教育支援・子育て支援など） 例) おやこひろば、親子体操、おはなし会、保育サポーター養成講座、家庭教育講演会、親子アウトドア講座、親子工作教室 他
現代的課題	社会の急激な変化に対応し、人間性豊かな生活を営むために人々が学習する必要のある課題（上記4分野に該当しないもの） （人権・多文化共生・防災教育・環境教育・地域活性化・平和学習など） 例) 人権学習会、国際交流講座、防災講座、まち創り講座、ヤングケアラー、フードロス、金融教育、不登校支援 他

新たな社会教育・生涯学習と地域の拠点づくり（案）

目的

市民のライフスタイルが多様化し、社会情勢が変化している中で、社会教育・生涯学習の新たなニーズにより一層応える必要がある。また施設整備をするにあたって、変化する社会状況や地域住民の多様なニーズにこたえるため、これまでの社会教育の枠組みを超えた新たな施設を考える時期にきている。各地域においては地域自治協議会設立推進に伴い、地域の活動拠点が求められている。加えて、国からは公民館と地域運営組織との連携が重要と示されている。そこで公民館機能を備えた地域ふれあい会館を整備し、より良い社会教育・生涯学習と地域の拠点づくりが必要である。

公民館に関する課題

- 利用者の固定化
- 利用者の年齢層に偏り
- 施設の老朽化
- 市民のライフスタイルが多様化
- 現在のニーズに沿った社会教育・生涯学習の提供
- 学んだことを地域や社会で生かす気運の醸成
- 効率的で効果的な行政運営の必要性の一層の高まり
- 今後も持続可能な施設運営・施設維持の必要性
- 社会教育等に限定されない施設の幅広い利用ニーズ



地域や地域の拠点施設をとりまく課題

- 人口減少・少子高齢社会の到来
- 核家族化や地域の人と人とのつながりの希薄化
- 地域自治・住民自治の新たな進展
- ICT社会の到来
- 地域課題や地域ニーズの多様化・複雑化
- 防災意識の高まり



目指すもの

拠点としての公民館を備えつつ、公民館施設と地域ふれあい会館が融合した、地域自治の拠点機能、社会教育・生涯学習の拠点機能を備えた地域ふれあい会館に移行する。

地域ふれあい会館に公民館の機能を付加

公民館



社会教育・生涯学習の推進

生涯学習施設として、ニーズの高い社会教育・生涯学習の一層の充実と、子育て世代・若者の支援の充実を図り、社会教育・生涯学習推進の拠点とする

社会教育・生涯学習の専門性を活かした一層の事業の充実

生涯学習財団職員は、地域で管理する施設のニーズに応じ社会教育・生涯学習の企画や提供を行う等、社会教育・生涯学習の推進に向け、機動的に実施できる体制を整える（財団職員は常駐から派遣へ）

地域ふれあい会館



地域ふれあい会館

地域自治の充実・発展と施設の有効活用

- 地域住民の交流活動・福祉活動の拠点に加え、地域自治協議会の活動拠点として、一層の地域自治の振興、地域活性化を図る
- 地域住民が行政と共に公共サービスを提供することによって、より地域の実情に応じた多様な担い手による市民サービスが可能となる
- 地域コミュニティの活性化に向けて、地域自治協議会等が主体となり、また、行政も一緒になって、地域のにぎわいや活力を取り戻していくことを目指す

現状

新たな地域の拠点

ふれあい会館

地域自治の推進

公民館

生涯学習
社会教育



新たなふれあい会館

生涯学習
社会教育
地域自治の推進

新たな地域の拠点整備によって見込める効果

メリット

- 現有の市有施設を有効に活用又は集約することで、効率的に新たな地域自治と生涯学習・社会教育の拠点を整備できる。又は、新たな施設を整備することができる
- 地域が担い手となることで、より一層の住民自治の振興や住民の新たな活動やつながり等が生まれる
- 地域の活力を活用して地域に指定管理することで、生涯学習財団の職員が持つ知見やノウハウを生涯学習や社会教育の振興・推進のために集中投下できる
- 現有の市有施設を有効に活用することで、施設の維持・補修が効率的になる

配慮すべき点

- 指定管理業務のための地域の担い手が必要になる
- 生涯学習財団職員が、「常駐」から事業実施時等における「派遣」となる
- 施設の立地が変わる場合があり、住民の利便性に変化が生じる場合がある
- 地域住民の方にとって愛着のある公民館施設が新たな施設に生まれ変わる、又は、廃止となる

これまでの取り組み

三笠公民館大安寺西分館が大安寺西地域ふれあい会館に移行（平成31年4月）

興東公民館東里分館が東里地域ふれあい会館に移行（平成31年4月）

若草公民館佐保分館が佐保地域ふれあい会館に移行（令和2年4月）

南部公民館明治分館が明治地域ふれあい会館に移行（令和4年4月）

二名公民館西登美ヶ丘分館が二名地域ふれあい会館に移行予定（令和6年4月）※令和5年7月をもって分館廃止

移行方法

【施設面】

- ①公民館施設を転用して、地域ふれあい会館に移行
- ②公民館施設を廃止して、地域ふれあい会館を新設

【運営面】

- 地域自治協議会が指定管理者となり施設を運営管理
- 生涯学習財団職員が出向き地域のニーズに応じた社会教育事業を展開

【実施面】

- 地域自治協議会が設置され、実施の合意調整が整った地域の施設から順次、実施
- モデルとなる地域を位置づけて実施し、そこで得たノウハウや知見を以降の取組にフィードバック



公民館から地域ふれあい会館への今後の移行イメージ（案）

基幹型公民館（6館）

- ・ 統括施設 生涯学習センター
- ・ 中央拠点施設 中部公民館
- ・ 西部拠点施設 西部公民館
- ・ 北部拠点施設 平城東公民館
- ・ 南部拠点施設 南部公民館
- ・ 東部山間拠点施設 都祁公民館

その他の公民館 今後5年をめどに移行

ステップ1

- ・ 公民館と地域自治協議会が密接である施設で、モデルとなるような移行ができる施設

ステップ2

- ・ 今後新たに地域自治協議会が設立され、地域拠点の要望があり、具体的に進める見込みのある地域にある施設

ステップ3

- ・ その他の公民館の施設

●各施設の概要

令和4年4月1日現在

	公民館（24館）	公民館分館（24館）	地域ふれあい会館（18館）
設置根拠法令	社会教育法 奈良市公民館条例 奈良市公民館条例施行規則		地方自治法 奈良市地域ふれあい会館条例 奈良市地域ふれあい会館条例施行規則
設置目的	公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的として設置する。		すべての市民が地域社会のふれあいの中で日常生活を送ることができるよう、地域の交流活動及び福祉活動の拠点として、地域ふれあい会館を設置する。
所管部署	奈良市教育委員会 教育部 地域教育課		奈良市市民部 地域づくり推進課
運営管理	指定管理者（公益財団法人奈良市生涯学習財団）	指定管理者（自治会等、地域団体）	指定管理者（自治会等、地域団体）
料金	使用料	無料	利用料

●公民館・分館と地域ふれあい会館の違い

公民館・分館

【理想の姿】

専門職員が配置されており、地域の課題やニーズを基に事業を行い、地域住民が気軽に立ち寄り、集える身近な施設。

社会教育法で公民館の事業や運営方針が決められている。

公民館・分館は学習活動の場や事業を提供する必要がある。

地域ふれあい会館

【理想の姿】

地域コミュニティ活動の活性化を進めるために、地域の交流活動及び福祉活動の拠点となる施設。

公民館や分館に比べ、設置目的に適っていれば様々な利用に供することができ、利用制限が少ない。

●公民館分館から地域ふれあい会館への移行事例

[平成31年4月1日] 三笠公民館大安寺西分館→大安寺西地域ふれあい会館

[平成31年4月1日] 興東公民館東里分館→東里地域ふれあい会館

[令和2年4月1日] 若草公民館佐保分館→佐保地域ふれあい会館

[令和4年4月1日] 南部公民館明治分館→明治地域ふれあい会館

地区					現状		
総計ゾーン	地域自治協議会	中学校区	小学校区		公民館	分館	ふれあい会館
中央市街地	あすか地域自治協議会	飛鳥中学校	飛鳥小学校		飛鳥公民館	白毫寺分館	
		若草中学校	鼓阪小学校		若草公民館		
			鼓阪北小学校				
	佐保地域自治協議会		佐保小学校				佐保地域ふれあい会館
	済美地区地域自治協議会	春日中学校	済美小学校		春日公民館	西木辻分館	済美地域ふれあい会館
					生涯学習センター		
			大安寺小学校			大安寺分館	
	済美南地区自治協議会		済美南小学校			済美南分館	
		三笠中学校	椿井小学校		中部公民館		
	大宮地区自治協議会		大宮小学校		三笠公民館		
	大安寺西川辺のまちづくり協議会		大安寺西小学校				大安寺西地域ふれあい会館
			佐保川小学校				佐保川地域ふれあい会館
西北部		ならやま中学校	ならやま小学校	旧右京小 旧神功小			右京地域ふれあい会館
					平城西公民館		
	朱雀地区まちづくり協議会	平城東中学校	朱雀小学校		平城東公民館		朱雀地域ふれあい会館
	佐保台地区地域自治協議会		佐保台小学校				佐保台地域ふれあい会館
	左京地区地域協議会		左京小学校				左京地域ふれあい会館
		富雄中学校	富雄北小学校			元町分館	
			鳥見小学校		富雄公民館		
		登美ヶ丘北中学校	登美ヶ丘小学校		登美ヶ丘公民館		
			東登美ヶ丘小学校				とみの里地域ふれあい会館
		二名中学校	青和小学校		二名公民館		青和地域ふれあい会館
						二名分館	
	二名地域自治協議会		二名小学校			西登美ヶ丘分館（R7年度に地域ふれあい会館へ移行予定）	
	(準備会)	富雄南中学校	富雄南小学校		富雄南公民館		
	予定有		三碓小学校			学園大和分館	
	学園南地域自治協議会		(あやめ池小学校)		西部公民館		
	(準備会)	登美ヶ丘中学校	鶴舞小学校				
	平城西地域自治協議会		平城西小学校		登美ヶ丘南公民館		
	奈良帝塚山地域自治協議会	富雄第三中学校	富雄第三小学校				
	予定有	伏見中学校	伏見小学校		伏見公民館	あやめ池分館	伏見地域ふれあい会館
	予定有		西大寺北小学校				西大寺北地域ふれあい会館
			あやめ池小学校				
	(準備会)	京西中学校	六条小学校		京西公民館		
			伏見南小学校			平松分館	
中部	(準備会)	都跡中学校	都跡小学校		都跡公民館	佐紀分館	都跡地域ふれあい会館
		平城中学校	平城小学校		平城公民館	歌姫分館	
南部		都南中学校	東市小学校				東市地域ふれあい会館
			辰市小学校			東九条分館	辰市地域ふれあい会館
	明治地区自治協議会		明治小学校				明治地域ふれあい会館
			帯解小学校		南部公民館	精華分館	帯解地域ふれあい会館
東部		田原中学校	田原小学校		田原公民館	横田分館	
	(準備会)					袖ノ川分館	
						水間分館	
		興東館柳生中学校	柳生小学校		柳生公民館	興ヶ原分館	柳生地域ふれあい会館
						邑地分館	
						北野山分館	
						丹生分館	
						大平尾分館	
			興東小学校		興東公民館	狭川分館	東里地域ふれあい会館
月ヶ瀬		月ヶ瀬中学校	月ヶ瀬小学校		月ヶ瀬公民館		月ヶ瀬地域ふれあい会館
都祁		都祁中学校	都祁小学校		都祁公民館		
7	14	21	42		24	23	20